



2018 年 10 月 23 日

報道関係各位

2018 年度リレー・フォー・ライフ・ジャパン(RFLJ)「プロジェクト未来」 研究助成金の採択者決定について

公益財団法人 日本対がん協会
会長 垣添 忠生

謹啓

平素は小協会の活動にご理解をいただき、ありがとうございます。

小協会が、がんサバイバーや家族、支援者の方々と一緒に活動しています、がん征圧・患者支援イベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン(RFLJ)」に寄せられた寄付をもとにした表題の今年度の研究助成が別紙のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

謹白

RFLJ「プロジェクト未来」研究助成金とは

公益財団法人日本対がん協会(会長・垣添忠生)は、RFLJ に寄せられる寄付を基に、がん研究を助成する RFLJ「プロジェクト未来」研究助成金を 2012 年に設けました。この助成金は画期的な治療法につながる期待できる基礎的な研究、そうした成果を臨床につなげる研究や患者の QOL の向上などを患者側から支援しようというものです。日本の優れた研究をいち早く患者のもとに届けるため、この助成金を使って欲しいという RFLJ 参加者である、患者・家族・支援者たちの切なる願いが込められています。

【助成金】

- ・総額: 1 件あたり最高 300 万円/年(総額 1,500 万円以内)
- ・対象: がんに関する基礎研究・臨床研究、患者・家族のケアに関する研究
- ・選考: 日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床癌腫瘍学会の協力のもと、同会員、RFLJ ボランティア 実行委員代表らで構成する選定委員会で審査する。

「リレー・フォー・ライフ(RFL)」とは

RFL は 1985 年、アメリカの一人の医師が、「がん患者さんに生きる勇気と希望を抱いてもらえる様、自分に何かできないか。」と考え、24 時間走り続けたことが始まりです。そして「がん患者は 24 時間、がんと闘っている。」というメッセージを掲げ、がん患者のための資金を集めるため、トラックを1周する毎に寄付を募りました。

日本では日本対がん協会が ACS からライセンス認可を受け、2006 年に茨城県つくば市で試行し、2007 年から本格的に開催し、その後年々増え、2018 年度は 48 か所でのリレーイベントの開催が予定されています。

がん征圧・患者支援のための寄付を募るのが主目的ですが、がんの正しい知識の啓発、患者・家族・支援者・医療者の方々の交流の場にもなっています。

この件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

■日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ・ジャパンチーム 担当:平野(電話 03-3541-4771)

以上

リレー・フォー・ライフ・ジャパン(RFLJ)「プロジェクト未来」研究助成金 2018年度 採択者

I 分野(基礎研究・臨床研究) 合計:1,050万円

(五十音順、敬称略)

申請者名	所属	申請テーマ	助成金額
石本 崇胤 (イシモト タカツグ)	熊本大学国際先端医学研究機構 消化器がん生物学	スキルス胃がん腹膜播種に対する細胞間ネットワークを標的とした新規薬物療法の開発	100万円
加藤 洋人 (カトウ ヒト)	東京医科歯科大学難治疾患研究所 ゲノム 病理学分野	がん浸潤 B 細胞の個性に着目した新しいがん免疫療法の開発	130万円
國本 博義 (クニモト ヒロヨシ)	横浜市立大学医学部 血液・免疫・感染症内科	炎症性サイトカインを介したクローン造血の拡大機序に基づく新規白血病予防法の創成	120万円
櫻井 雅之 (サクライ マサユキ)	東京理科大学生命医学研究所 分子病態学研究部門櫻井研究室	DNA:RNA 対合鎖の DNA アデノシン脱アミノ化編集による DNA 塩基置換機構とがん発症機構の解明	100万円
佐藤 和秀 (サトウ カズヒデ)	名古屋大学高等研究院医学系研究科病態内科学講座 呼吸器内科	悪性中皮腫の制圧を目指して:光を用いた悪性中皮腫のターゲット治療診断システムの開発	100万円
鈴木 拓 (スズキ ヒロム)	札幌医科大学医学部 分子生物学講座	ヒストン修飾を標的とした多発性骨髄腫の個別化治療法の開発	100万円
増田 万里 (マスタ マリ)	国立がん研究センター・研究所 細胞情報学分野・連携研究室・増田グループ	骨肉腫患者に新たな治療選択肢を;TNIK 阻害剤による骨肉腫分化転換誘導を介した新規治療薬の開発	100万円
盛田 大介 (モリタ ダイスケ)	信州大学医学部小児医学教室 信州大学バイオメディカル研究所	小児がん経験者に対する遺伝性がん関連遺伝子パネル検査、及びがん素因に基づく包括的二次がんスクリーニング	100万円
山家 智之 (ヤマベ トモユキ)	東北大学加齢医学研究所 非臨床試験推進センター心臓病電子医学分野	舌がん患者でも、食事を楽しみたい=世界初の完全埋込型人工舌の発明	100万円
渡邊 すぎ子 (ワタナベ スギコ)	大阪大学微生物病研究所 遺伝子生物学分野	細胞老化に伴う細胞質内 DNA 応答機構とがん促進に関わるゲノム不安定性の関係解明	100万円

II 分野(患者・家族のケアに関する研究) 合計:450万円

(五十音順、敬称略)

申請者名	所属	申請テーマ	助成金額
市村 崇 (イチムラ タカシ)	がん研究会 有明病院 消化器化学療法科	がん患者の子供に対する心理的・社会的支援システムの開発(2年目)	50万円
上別府 圭子 (カミベツフ キョコ)	東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻家庭看護学分野	成人がん患者における SNS 上の患者会参加状況が孤独感に与える影響	40万円
久芳 さやか (クハ サヤカ)	長崎大学大学院 移植・消化器外科	乳癌化学療法におけるステロイド含有含嗽薬の口腔粘膜炎症予防効果に関する検討(多施設共同第2相試験)	40万円
櫻木 範明 (サクラギ ノリアキ)	小樽市立病院	効果的子宮頸がん検診システムの確立についての研究ー自己採取検体による16、18型判定HPV検査の有用性ー	50万円
津村 麻紀 (ツムラ マキ)	法政大学現代福祉学部 臨床心理学科	総合病院のがん医療に携わる心理職の専門教育に関する研究	40万円
殿山 希 (ドノヤマ ノゾミ)	筑波技術大学保健科学部 保健学科	がんサバイバー、各ステージのがん患者、医療従事者、介護家族向けマッサージプログラムの作成とエビデンスの構築:Hospital-based massage therapy for cancer care の確立を目指して	40万円
平山 貴敏 (ヒラヤマ タカシ)	国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科	AYA 世代がん患者の交流サロン『AYA ひろば』の開発	40万円
藤森 麻衣子 (フジモリ マイコ)	国立がん研究センター 社会と健康研究センター健康支援研究部	若年がん患者の支援に関するニーズ調査	40万円
水野 道代 (ミズノ ミチヨ)	筑波大学医学医療系	がん体験者の自己管理を中心とするQOLを踏まえた継続支援プログラムの構築	70万円
分田 貴子 (ワケダ タカコ)	東京大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科	非医療者による院内外見ケアサービス推進に向けた患者意識の解析	40万円